

AIでスピーチ原稿を書く時代

ライフデザイン研究部 主席研究員/テクノロジーリサーチャー 柏村 祐(かしわむら たすく)

1. スピーチ原稿作成の悩み

スピーチ原稿の作成は多くのビジネスパーソンが経験する業務である。会議でのプレゼン、セミナーの司会、各種会合での挨拶など、様々な場面で使用するスピーチ原稿は、正確な情報伝達や時間管理、一貫性のあるメッセージの維持を目的としている。そのため、聴衆の理解度や関心への配慮、説得力のある論理構成、聴きやすいリズム、話し言葉に近い自然な文体など考慮すべき要素は多岐にわたる。これらの要素を適切に組み込んだ原稿の作成には、経験豊富なビジネスパーソンにとっても相応の時間と労力を要するため、効率化が求められるところだ。

近年、AI技術の急速な進歩により、様々なビジネスプロセスで自動化や効率化が進んでおり、スピーチ原稿作成においてもAI活用の可能性が開けつつある。本レポートでは、ビジネスシーンにおけるAIを活用したスピーチ原稿作成の可能性と課題について検討する。

2. AIによる原稿作成の実態

AIによるスピーチ原稿作成の実態について、具体的な事例を用いて検証する。今回、部下の結婚式での主賓挨拶というスピーチ場面を想定した。

まず、AIに「入社3年目の営業部署に所属する部下の結婚式での主賓挨拶を作成ください」と指示したところ、AIは資料1のような原稿を生成した。

生成された挨拶文は一般的なものであったため、具体的なエピソードを加えるために、「配属当初は戸惑っている様子もありましたが、徐々に職場に慣れ、今ではチームのリーダー役を担っており、貴重な戦力になっているとい

う誉め言葉を追加してください」という追加指示を出したところ、AIは資料2のようにブラッシュアップした。

以上のように、AIはスピーチの場面特性を理解し、適切な内容とトーンをもつ原稿を作成することができる。さらに、適切なキーワードを追加で提供することで、AIはより洗練された、場面に即した原稿も作成できることも明らかになった。

資料1 AIが作成したスピーチ原稿

本日は、[新郎名]君、[新婦名]さんの晴れの日に、このようなお席にお招きいただき、誠にありがとうございます。私は、[新郎名]君の上司を務めております[上司名]と申します。

[新郎名]君とは、3年前に彼が新入社員として入社して以来のお付き合いとなります。最初は期待と不安を胸に秘めながら営業の現場に飛び込んできた彼の姿を、今でも鮮明に覚えております。

営業という仕事は、決して平坦な道のりではありません。お客様との信頼関係を築き、時には厳しい交渉を重ねながら、一つひとつの案件を成功に導いていく。その過程で[新郎名]君は、何度も壁にぶつかりながらも、決して諦めることなく、真摯に仕事と向き合ってきました。

特に印象に残っているのは、入社2年目に大きなプロジェクトを任せられた時のことです。プレッシャーの中でも冷静さを失わず、チーム全体をまとめ上げ、見事にプロジェクトを成功に導いた姿は、私たち上司にとっても大きな誇りとなりました。

そんな[新郎名]君が、今日、人生の新たなステージを迎えられることを、上司として心から嬉しく思います。[新婦名]さんとお会いした際、お二人の自然な笑顔と温かな雰囲気、これからの人生を共に歩んでいかれるお二人の将来に、大きな希望を感じました。

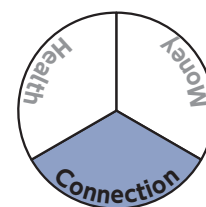
[新郎名]君、仕事でもプライベートでも、常に前を向いて進んでいく君の姿勢は、きっとこれからの人生でも大きな力となることでしょう。そして[新婦名]さん、時に厳しい仕事に追われる[新郎名]君を、いつも温かく支えていただけたことを心から感謝いたします。

結婚生活は、仕事と同じように必ずしも順風満帆ではないかもしれませんが、しかし、お二人で力を合わせ、互いを思いやり、支え合っていけば、どんな困難も乗り越えていけることを確信しております。

今日のこの素晴らしい門出を心からお祝いするとともに、お二人の末永いご多幸とご健勝を祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

どうか、お二人らしい、温かく、笑顔の絶えない家庭を築いていってください。本日は誠にありがとうございます。

(出所) Claude3.5より筆者作成



3. 人間とAIの新たな協働モデル

このような人間とAIの協働モデルでは、AIと人間それぞれの強みを活かしたアプローチが可能である。つまり、AIをスピーチ原稿作成の「下書き」ツールとして活用し、

人間がその内容を精査・編集する役割を担うのである。

具体的には、AIが基本的な文章構造や一般的な表現、場面に応じた適切なトーンを提供し、人間がより個人的なエピソードや具体的な事例、組織特有の文化的な要素を追加することで、より説得力と共感性の高い原稿を完成させることができる。また、AIの活用により、原稿作成の初期段階で必要となる時間を大幅に削減できるため、人間はより創造的な部分やメッセージの本質的な部分の検討に注力することが可能となる。

ただし、AIが生成する文章には、時として一般的すぎる表現や、文脈に適さない内容が含まれる可能性があるため、人間による適切な指示と編集が不可欠である。特に、スピーチの場における聴衆との関係性や、組織内での立場、過去の経緯など、複雑な人間関係や文脈を考慮した調整は、人間の重要な役割である。さらに、AIの出力に対して適切なフィードバックを行い、より良い原稿を生成するためのプロンプトを工夫することも、人間に求められる重要なスキルとなっている。

このような人間とAIの相互補完的な関係性を構築することで、より効率的かつ質の高いスピーチ原稿作成プロセスを確立することができるだろう。実際の活用においては、組織内でのベストプラクティスの共有や、AIとの効果的な対話方法についての教育も重要となる。

今後は、AIの技術的な進歩に伴い、よりきめ細かな文脈理解や、個別の状況に応じた柔軟な対応が可能となるだろう。このような技術の発展を踏まえつつ、人間の創造性や感性との最適な組み合わせを模索していくことが、今後のビジネスコミュニケーションの発展を促すうえで重要な課題だといえる。

資料2 AIが作成したスピーチ原稿改訂版

本日は、[新郎名]君、[新婦名]さんの晴れの日で、このようなお席にお招きいただき、誠にありがとうございます。私は、[新郎名]君の上司を務めております[上司名]と申します。

[新郎名]君とは、3年前に彼が新入社員として入社して以来のお付き合いとなります。最初は期待と不安を胸に秘めながら営業の現場に飛び込んできた彼の姿を、今でも鮮明に覚えております。配属当初は新しい環境に戸惑う様子も見られましたが、持ち前の素直さと向上心で、一つひとつ丁寧に仕事を覚えていく姿に、私たちは感銘を受けました。そして今では、チームのリーダー役として後輩の指導も担当し、部署になくてはならない貴重な戦力へと成長してくれました。

営業という仕事は、決して平坦な道のりではありません。お客様との信頼関係を築き、時には厳しい交渉を重ねながら、一つひとつの案件を成功に導いていく。その過程で[新郎名]君は、何度も壁にぶつかりながらも、決して諦めることなく、真摯に仕事と向き合ってきました。

特に印象に残っているのは、入社2年目に大きなプロジェクトを任された時のことです。プレッシャーの中でも冷静さを失わず、チーム全体をまとめ上げ、見事にプロジェクトを成功に導いた姿は、私たち上司にとっても大きな誇りとなりました。

そんな[新郎名]君が、今日、人生の新たなステージを迎えられることを、上司として心から嬉しく思います。[新婦名]さんとお会いした際、お二人の自然な笑顔と温かな雰囲気、これからの人生を共に歩んでいかれるお二人の将来に、大きな希望を感じました。

[新郎名]君、仕事でもプライベートでも、常に前を向いて進んでいく君の姿勢は、きっとこれからの人生でも大きな力となることでしょう。そして[新婦名]さん、時に厳しい仕事に追われる[新郎名]君を、いつも温かく支えていただけことを心から感謝いたします。

結婚生活は、仕事と同じように必ずしも順風満帆ではないかもしれませんが、しかし、お二人で力を合わせ、互いを思いやり、支え合っていけば、どんな困難も乗り越えていけることを確信しております。

今日のこの素晴らしい門出を心からお祝いするとともに、お二人の末永いご多幸とご健勝を祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

どうか、お二人らしい、温かく、笑顔の絶えない家庭を築いていってください。本日は誠にありがとうございます。

(出所) Claude3.5より筆者作成